

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立旭東中学校

令和 7 年 4 月

(様式 1)

大阪市立旭東中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

規律のある規範意識の醸成により、落ち着いた学習環境づくりが進んでいる一方で、精神的不安定等により登校できない生徒がいる。家庭との連携を深めながら、生徒が登校できるように取り組む。中学生チャレンジテストにおいて平均正答率については、昨年度大阪府、大阪市と比較して下回った。大阪府市と同等以上の結果が出せるように取り組みを進める。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・毎年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 80 %以上にする。
- ・毎年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・毎年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。
- ・毎年度末の校内調査の「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答を 60 %以上にする。
- ・毎年度末の校内調査の「自分や仲間を大切にしていますか」の項目について、肯定的な回答を 90 %以上にする。
- ・毎年度末の校内調査の「学校が楽しいですか」の項目について、肯定的な回答を 80 %以上にする。
- ・毎年度末の校内調査の「学校の規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答を 90 %以上にする。
- ・毎年度末の校内調査の「掃除当番をしっかりしていますか」の項目について、肯定的な回答を 90 %以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・毎年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を20%以上にする。
- ・毎年度、中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- ・毎年度、大阪市英語力調査におけるC E F R A1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を50%以上にする。
- ・毎年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を50%以上にする。
- ・毎年度末の校内調査の「家で学習をしていますか」の項目について、肯定的な回答を50%以上にする。
- ・毎年度末の校内調査の「部活動や習い事以外で体力づくりをしていますか」の項目について、肯定的な回答を55%以上にする。
- ・毎年度末の校内調査の「朝ごはんを食べていますか」の項目について、肯定的な回答を85%以上にする。
- ・毎年度末の校内調査の「手洗い・うがいをしていますか」の項目について、肯定的な回答を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事ICT活用が適さない日数を除く）
- ・毎年度、ゆとりの日については、週1回以上設定する。
毎年度、学校閉庁日については、夏季休業中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。
- ・毎年度末の校内調査の「時間を見つけて読書をしている」の項目について、肯定的な回答を35%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を78%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。

学校の年度目標

- ・年度末の校内調査の「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答を80%以上にする。
- ・年度末の校内調査の「自分や仲間を大切にしていますか」の項目について、肯定的な回答を96%以上にする。
- ・年度末の校内調査の「学校が楽しいですか」の項目について、肯定的な回答を80%以上にする。
- ・年度末の校内調査の「学校の規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答を96%以上にする。
- ・年度末の校内調査の「掃除当番をしっかりしていますか」の項目について、肯定的な回答を95%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を40%以上にする。
- ・中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

学校園の年度目標

- ・年度末の校内調査の「家で学習をしていますか」の項目について、肯定的な回答を61%以上にする。
- ・年度末の校内調査の「部活動や習い事以外で体力づくりをしていますか」の項目について、肯定的な回答を53%以上にする。
- ・年度末の校内調査の「朝ごはんを食べていますか」の項目について、肯定的な回答を91%以上にする。
- ・年度末の校内調査の「手洗い・うがいをしていますか」の項目について、肯定的な回答を93%以上にする。
- ・大阪市英語力調査におけるC E F R A1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を48%以上にする。
- ・年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を55%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

【ＩＣＴの活用に関する目標を設定する】

- ・授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事 ICT 活用が適さない日数を除く)

【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】

- ・ゆとりの日については、週1回以上設定する。

学校閉学日については、夏季休業中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。

学校園の年度目標

- ・今年度「学習動画コンテンツ配信モデル校」としてＩＣＴ教育を推進する。
- ・校内アンケートの「時間を見つけて読書をしている」の項目について、肯定的な回答を36%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立旭東中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 78 % 以上にする。(前年度 76 % 今年度 %) ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。(前年度 7.76% 今年度 %) <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査の「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答を 80 % 以上にする。(今年度 %) ・年度末の校内調査の「自分や仲間を大切にしていますか」の項目について、肯定的な回答を 96 % 以上にする。(今年度 %) ・年度末の校内調査の「学校が楽しいですか」の項目について、肯定的な回答を 80 % 以上にする。(今年度 %) ・年度末の校内調査の「学校の規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答を 96 % 以上にする。(今年度 %) ・年度末の校内調査の「掃除当番をしっかりしていますか」の項目について、肯定的な回答を 95 % 以上にする。(今年度 %) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1、安全安心な教育の実現】</p> <p>安心・安全な学校づくりのため、全学年で外部機関と連携し、防災・減災と防犯教育等に取り組む。</p> <p>学校行事・部活動等を活性化する。</p>	
<p>指標</p> <p>薬物乱用防止、スマホ安全教室、避難訓練等、全学年で年 1 回以上取り組む。</p> <p>体育大会・文化発表会・各学年における校外学習・部活動等を活性化し、「学校が楽しい」と思える生徒の割合を上げる。</p>	

取組内容②【基本的な方向 2、豊かな心の醸成】

規範意識を醸成するため、集会等で生活習慣の啓発に取り組む。

道徳教育・人権教育を充実させる。キャリア教育学習(職業体験学習・職業講話等)を実施し、職業観を身につけさせる。本物の芸術や技術等に触れさせる。

指標

規範意識についての校内調査を年1回以上実施する。

週1時間の道徳の時間を確実に実施する。外部機関と連携した人権教育を各学年1回以上実施する。

職業講話等（1年）、職業体験等（2年）体験入学等（3年）を実施する。

芸術鑑賞会や技術体験学習等を年1回以上実施する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立旭東中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 40 %以上にする。(今年度 %) ・中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。(1 年今年度 国語 数学 ・ 2 年前年度 国語 0.88 数学 0.86 今年度 国語 数学 ・ 3 年前年度 国語 1.02 数学 0.94 今年度 国語 数学) 	
<p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査の「家で学習をしていますか」の項目について、肯定的な回答を 61 %以上にする。(今年度 %) ・年度末の校内調査の「部活動や習い事以外で体力づくりをしていますか」の項目について、肯定的な回答を 53 %以上にする。(今年度 %) ・年度末の校内調査の「朝ごはんを食べていますか」の項目について、肯定的な回答を 91 %以上にする。(今年度 %) ・年度末の校内調査の「手洗い・うがいをしていますか」の項目について、肯定的な回答を 93 %以上にする。(今年度 %) ・大阪市英語力調査における C E F R A1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合 (4 技能) を 48 %以上にする。(今年度 %) ・年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を 55 %以上にする。(今年度 %) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 国語科・数学科・英語科における習熟度別クラス編成等により、個に応じた指導をすすめ、学力を向上させる。「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現に向けて、教員の授業力を向上させる。	
指標 国語科・数学科・英語科において週16時間以上、習熟度別授業およびTT授業を実施する。 全教員が年1回以上授業研究を実施する。	
取組内容②【基本的な方向5、健やかな体の育成】 総合的な体力の向上を育むため、保健体育の授業の充実に取り組む。	
指標 保健体育科においてできる限りTT授業を実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市立旭東中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>【ICT の活用に関する目標を設定する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50 % 以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事 ICT 活用が適さない日数を除く) (今年度 %) <p>【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆとりの日については、週 1 回以上設定する。(今年度 回) 学校閉学日については、夏季休業中は 3 日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては 1 日以上設定する。(今年度 夏季休業中 日 夏季休業期間以外の休業期間 日) <p><u>学校の年度目標</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度「学習動画コンテンツ配信モデル校」として ICT 教育を推進する。 年度末の校内調査の「時間を見つけて読書をしている」の項目について、肯定的な回答を 36 % 以上にする。(今年度 %) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6、教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</p> <p>学校施設設備・学習環境・学習ツール等を整備し、教員・生徒が ICT 機器を活用する力を育成する。</p>	
<p>指標</p> <p>ICT 機器の活用研修を年 1 回以上実施する。</p> <p>全教員が ICT を活用した授業を実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 7、人材確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>教員の働き方改革を推進する。</p>	
<p>指標</p> <p>ゆとりの日を週 1 回は設定し、定時勤務終了を促進する。また長期休業中に学校閉学日を設定し、全教職員が休暇を取得できるようにする。</p>	

取組内容③【基本的な方向8、生涯学習の支援】

学校図書館の活性化を図り、読書活動を推進する。

指標

図書館の蔵書数を増加させる。図書を完全電子化で管理する。

取組内容④【基本的な方向9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】

P T A、学校協議会、非行防止連絡協議会、人権教育ネットワーク等の活動を推進する。

指標

各団体における活動や会議に、全教職員が分担して参加・活動する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点